

- 「いわて家庭の日」新ロゴマーク決定
- 「いわて家庭の日」フェスティバル
- 第3回・4回社会生活に困難を有する子ども・若者支援セミナー
- 平成29年度事業カレンダー



青少年 いわて 3 2018

「いわて家庭の日」新ロゴマークが決定しました!!

「いわて家庭の日」は家庭の果す役割を認識し、家族のきずなを深めてもらうきっかけとなる日として、県民会議が主唱している県民運動です。

今回、「いわて家庭の日」を多くの人に知ってもらい、親しんでもらうために、新しいロゴマークを募集したところ44名の方より45件の応募をいただきました。選考の結果、杜陵高速印刷株式会社の田鎖志保(たくさりしほ)さんの作品が新しいロゴマークに決まりました。



表彰式の様子

作品のコンセプトは「家族の繋がり」です。ロゴを描くひと続きの線は、家族間の切れることがない繋がりを表し、また、ハートのような形で家族を描くことで、家族の中心にある愛情や慈しむ心を表現しました、とのこと。

なお、田鎖さんを含めた入賞者3名に対する表彰式は、3月3日(土)に開催された「いわて家庭の日フェスティバル」の会場にて行い、県民会議会長より賞状が授与されたほか、表彰楯及び副賞を授与するスペシャルプレゼンターとして地域のラグビーのクラブチーム、釜石シーウェイブスの皆さんが参加しました。

決定したロゴマークについては今後、家庭の日PR活動で広く活用していきます。

県民会議のホームページからもダウンロードできますので、皆様も家庭の大切さを伝える場面でぜひご活用ください。



表彰式でスピーチをする田鎖さん

最優秀賞



たくさり しほ
制作者 田鎖 志保 さん
(杜陵高速印刷株式会社)

優秀賞



ぶとう ゆきこ
制作者 武藤 由紀子 さん
(杜陵高速印刷株式会社)

優秀賞



まつざき かずみ
制作者 松崎 和美 さん

毎月第3日曜日は いわて家庭の日

岩手県青少年育成県民会議では、青少年を守り育てる運動として
「いわて家庭の日」を主唱しています。

推進協力：岩手県・岩手県教育委員会・岩手県警察本部



「いわて家庭の日フェスティバル」を開催しました!!

3月3日(土)にアイーナ4階の県民プラザで「いわて家庭の日フェスティバル」を開催しました。「いわて家庭の日」の普及拡大を目的に開催したフェスティバルではたくさんの親子連れが来場し、大きな賑わいを見せました。

10月に開催された「いわて親子フェスティバル」で人気だった段ボール迷路や消臭剤や写真立ての工作の他にも、ひな祭りということで、6階の調理実習室でひな祭り料理に挑戦する親子料理教室や茶道の体験、甘ざけのおふるまいなども行い、子どもたちも笑顔で参加していました。

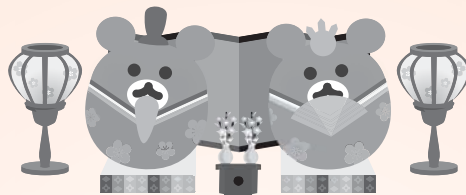
また、今回は「わんこきょうだいの生みの親」のオガサワラユウダイさんによるオリジナルキーホルダーづくりのワークショップや釜石市のラグビークラブチーム、釜石シーウェイブスのみなさんによるトークショーやラグビー体験など、普段交流する機会が少ない人たちとの交流もあり、来場された方々にとっても貴重な経験になったと思われます。

青少年の活動発表では、盛岡医療福祉専門学校の音楽サークル「もりっく」によるバンド演奏や盛岡大学合唱団の合唱などを行ったほか、岩手県立大学のバルーンアートサークルが会場をバルーンによって飾りつけたり、わんこきょうだいが登場して盛り上げました。

フェスティバル当日は高校生や大学生のボランティアの協力もあり、大成功でフェスティバルを終えることができました。



ひな祭り工作



わんこきょうだい



オリジナルトートバッグ



「いわて家庭の日」新ロゴマーク
入賞者表彰式



甘ざけおふるまい



バルーンアート



茶道体験



釜石シーウェイブス
ラグビー体験



Memoryをかざろう

いわて家庭の日 フェスティバル

3月3日土

来場者数：861人



段ボール迷路



盛岡大学合唱団



盛岡医療福祉専門学校
もりっく



カラフル消臭剤



ひな祭りクッキング



お菓子まき



オリジナルキーホルダー

社会生活に困難を有する子ども・若者支援セミナー

発達障害 (ASD・ADHD) について考える

「発達障害」に対する正しい理解が進み、障がいを抱える子ども・若者が社会生活を円滑に営めるよう必要な支援の充実につなげるため、4回の連続講座のうち、3回目及び4回目を開催しました。

第3回セミナー「医療の現場から見る発達障害～その課題と対応（学童期・青年期）～」

日時：平成30年1月19日（金）13:30～16:00

会場：会議室 804A（アイーナ8階）

やぎ じゅんこ

講師：いわてこどもケアセンター 副センター長 八木 淳子 氏

講演要旨

1. 発達障害（神経発達症）とは

生まれつきの特性で、「病気」とは異なるもの。周囲の理解と適切なサポートなど支援のあり方によって、改善への道は見つかる。

2. 発達障害介入・支援における医療的立場の特徴

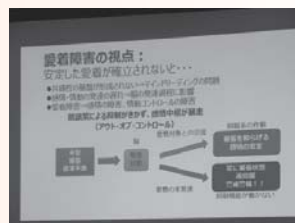
医学的治療：根本的な治療法はなく、自立をめざして「対応する」もの。早期発見、適切な診断、精神医学的介入と伴走（発達に応じた見守り）

保護者を孤立させない「理解」と「支援」：自己、家族、周囲（社会）の理解、自己対処能力の向上、家族の支援（養育・療育）、社会的支援＝福祉的支援、医療的介入

3. 発達障害診療のポイント

適切な治療（介入・支援）の方針決定のためには・・・

○目の前の子どものニーズをきちんと「みだてる」こと。多角的・包括的なアセスメント。



スライドを使いながら説明

4. 発達障害と併存症

発達障害児が、トラウマを受けると、記憶形式の特徴や感覚特異性によるフラッシュバック、タイムスリップが起こりやすく、かつ、こだわりによる反芻が繰り返されると、深い抑うつ状態に陥る、心的外傷後ストレス障害（PTSD）症状につながる。

5. 支援者としてのがんばりどころ

○二次障害の予防と対応、自尊心の低下を防ぐこと

発達障害特性が「障害」にはならないために

➡神経発達症（発達障害）を見逃さない

➡トラウマによる影響をできるだけ小さくする

包括的かつ多層的なアセスメントに基づく適切な支援を行う！



講話中の八木先生

第4回セミナー「すてきな発達障がいになる～社会に自立していくために～」

日時：平成30年1月28日（日）13:30～16:00

会場：団体活動室 2・3（アイーナ6階）

かとう きよし

講師：札幌市自閉症者自立支援センターゆい 所長 加藤 潔 氏

講演要旨

すてきな発達障がいとは、

いろいろな苦勞を他者や世の中のせいにすることなく、苦勞を抱えながらもそんなに悪くない自分を感じて生きている人たちのこと。定型発達に近づけようとする支援ではなく、「あなたはあなたらしく成長発達しましょう」という支援者側の発想転換がとても重要。

自分で決められる人になってもらおう

がんばろうという思いをもてる人になってもらおう

肉体的な健康を感じられる人になってもらおう

精神的にたおやかな人になってもらおう

社会参加ができる人になってもらおう



スライドを使いながら説明



講話後の質疑応答

配慮するということとは？

○本人を変えようとしな（多数派に近づけようとしな）こと

○少数派のままで輝けるように環境を工夫する。変わるのは支援者側。

➡そうしたら、なぜか本人たちも変わっていく。（人間は力を発揮しやすい環境にいれば自然に変わっていく）



講話中の加藤先生

情報メディア対応機関連絡会議

意見・情報交換を行い、各機関の連携強化と活動の活性化を推進を図りました。



5/22 Mon
岩手県庁

復興バザー

震災復興や被災者支援を目的としたバザーにボランティアと一緒に参加しました。



6/10 Sun・10/9 Mon
アイーナ

県民会議通常総会・表彰

優れた活動を行っている青少年育成指導者等について表彰を実施しました。



6/14 Wed
アイーナ

青少年育成セミナー

県内の団体や機関が意見・情報交換をし、お互いの連携と促進を図りました。



7/13 Thu・1/19 Fri
アイーナ

青少年を非行・被害から守る県民大会

非行防止運動の推進を目的に、県警音楽隊の演奏等を実施しました。



7/19 Wed
アイーナ

みたけがはらまつり

まつりの補助やブースでの手作りコーナーをボランティアと一緒に実施しました。



9/3 Sun
青少年会館隣接地

相談事例検討会

相談関係者の課題解決能力向上及び互いの連携強化を目的に実施しました。



9/13 Wed・1/12 Fri
アイーナ

わたしの主張岩手県大会

中学生が将来の目標や日常生活で感じたことを発表する県大会を開催しました。



9/14 Thu
ビッグループ滝沢

情報メディア対応サポーター育成セミナー

ネット問題等に対し適切な助言等が行えるようなサポーターの育成を実施しました。



9/16 Sat・23 Sat
アイーナ

子ども・家庭・地域に関する交流セミナー

子育てや教育に関する分科会形式のセミナーを実施しました。



9/30 Sat
八幡平市西根地区市民センター

「いわて家庭の日絵画・ポスターコンクール(盛岡展)」

県北地域及び盛岡近郊からの応募作品及び入賞作品を展示しました。



10/5 Thu～16 Sun
アイーナ

いわて親子フェスティバルinアイーナ

親子や家族で楽しめるコーナーをボランティアと一緒に企画し開催しました。



10/9 Mon
アイーナ

いわて希望塾

県内の中学生が集まり震災学習や知事との対話を行う宿泊研修を実施しました。



11/3 Fri～5 Sun
県立陸中海岸青少年の家

「いわて家庭の日絵画・ポスターコンクール(北上展)」

コンクールの全ての応募作品をさくら野百貨店のりぼん橋にて展示しました。



11/9 Thu～19 Sun
さくら野百貨店

「いわて家庭の日絵画・ポスターコンクール(表彰式)」

コンクールの入賞者 12 名の内、出席者 11 名の表彰を実施し、賞状及び記念品の授与を行いました。



11/19 Sun
北上市民交流プラザ

社会生活に困難を有する子ども・若者支援セミナー

発達障がいについて専門家を講師に 4 回の連続講義形式でセミナーを実施しました。



11/24 Fri・12/2 sat
1/19 Fri・1/28 Sun
アイーナ

国際交流シンポジウム「ボイスフォーラム」

内閣府の交流事業について、「成年の船」いわてプログラムについての報告等、交流会を開催しました。



2/9 Fri
岩手大学学生センター

いわて家庭の日フェスティバル

「いわて家庭の日」の普及拡大を目的に、家族で楽しめるイベントを開催しました。



3/3 Sat
アイーナ

通年事業

- ボランティア活動の促進
- 青少年育成地域活動支援事業
- 青少年育成講師派遣事業
- 情報メディア「出前」講座 (県内 14 か所で実施)
- 情報発信 (HP / SNS / 広報紙)
- 青少年なやみ相談室
- 「いわて家庭の日」普及・啓発活動

広報紙

- 青少年いわて (9 月、12 月、3 月)
- 「いわて家庭の日」カレンダー (毎月 1 日発行)
- アイーナインフォメーション (毎月 20 日発行)

青少年育成地域活動支援事業助成

対象団体：青少年育成市町村民会議、青少年団体・グループ、青少年育成団体、PTA その他の団体

対象事業：青少年の健全育成を目的とする体験・交流・実践活動や、家庭や地域における青少年の育成をテーマとする研修会・講演会等の活動で、10 人以上の参加者により開催されるもの。

募集期間：平成 30 年 4 月 1 日 (日) ～ 5 月 31 日 (木)

助成金額：1 件あたり 5 万円を上限とし、予算の範囲内で交付します。

◇申請の方法等、詳細についてはホームページで随時お知らせします◇

情報発信中

青少年活動交流センター

ホームページ：
<http://www.aiina.jp/seishounen/>
facebook：@yacaiina
twitter：@ya_center



(公社) 岩手県青少年育成県民会議

ホームページ：
<http://www.ipayd.server-shared.com/>
facebook：@iwateyouth

会員・協賛企業募集

県民会議では新規会員及び協賛企業を募集しています。次世代を担う青少年の健全な育成を共に目指しませんか。

1. 会員：会員には、県内各地で開催するイベントやシンポジウム等にご案内するほか、青少年に関する各種資料等をお送りします。
2. 協賛企業：県民会議 HP バナー広告、広報紙「青少年いわて」への広告、県民会議封筒への広告を有償で掲載させていただきます。

区 分	形 態	年 会 費
正会員	個 人	3 千円
	団体 (法人)	6 千円
賛助会員	個 人	一口 12 千円以上
	団体 (法人)	一口 25 千円以上

